



サロン あべの

〈サロン・あべの〉7月の出会い

真夏日の日差しが輝く平成21

年7月18日(土)午後

1時〜4時、育徳コミ

ュニティーセンター

2階研修室で、照井志

乃代さん(体操教室主

宰||写真次頁)をお迎

えして「笑顔になれる

顔体操」表情筋をき

たえる笑顔作り」に

ついて、お話をしてい

ただきました。

○はじめに

照井さんが体操に

興味をもたれたのは、

結婚して第1子を出

産後、体調を崩して寝

たきりになったこと

からでした。10代に交通事故で受

傷した箇所が再発して痛みで眠れ

ない日々を過していました。いろ

いろな医療に接する中で自分自身

笑顔になれる顔体操

表情筋をきたえる笑顔作り

の体に合った治療が整体法であることにたどり着きました。整

体の施術を受けるようになって

やっと動けるようになり、

その後、ヨガなどの東洋治

療にも興味を持つようにな

りました。ヨガでは良い先

生に巡り会い、体操やヨガ

の研修を受けるようになり

ました。その後、厚生労働

大臣認可の全国整体療法協

同組合認定整体師の認定を

得て、公認セラピスト養成

機構に加盟して、7年前よ

り体操教室を主宰されてき

ました。

○笑顔作り

笑顔が生まれるというこ

とは、体も心もリラックス

して気持ちにゆとりが生ま

れた時といえます。しかし、人

いつでもそのような状態で生活

をすることは難しいです。そ

こで、自然体で笑顔作りが出来る

ようになれば、自分自身の気持

ちにゆとりが生まれるのではな

いでしょうか。また、周囲の人

たちにも好印象を与え、和やかに

接することができるようになる

と思います。笑顔という形状

は、口を細く横開きにして、口の

両端を少し上げ気味にした状態

をいいます。そこで、顔の表情を

知るために割り箸を使います。

割り箸を前歯で横に加えて1分。

この時、顔の筋肉の動きと緩

みなどの働きをする表情筋の筋

肉があることに気づきます。

この筋肉の動きを知ること

で、笑顔の基本を覚えられます。

○本当の笑顔

顔の筋肉だけを鍛えても、体

本来の血流やリンパの流れが悪

いと本当の笑顔は生まれません。

リンパの流れは背中に関係があ

りますので、まず体を動かして

みましょう。

・両手を合わせて拍手のよう

にたたきます。

・・・血流がよくなります。

・ 指をじゃんけんのグー・チヨキ・パーにして力いっぱい3回くらい前方にだします。

・ 手の甲や、指の間をこすりましょう。

・・・手が温かくなつてゆきま

す。
・ 手の平を上に向けて、手の平から内腕にかけてこすりま

す。
腕を肘で曲げて、外側を指で押してゆきま

す。
・・・血流がよくなります。

○ 顔体操

正面を向いて右目を閉じたり開いたりします。次に右目を閉じた時、舌を右に出します。舌はおもいきり出して7つ数えます。

左目も同様に左右の目を閉じたり開いたりしながら、左目を閉じた時に左に舌を出し7つ数えます。

次に口をタコのように突き出したり、頬を膨らませたり、吸い込んだりします。頬の運動を1



00回くらいするとよいでしょう。この時、頬が膨らんだ時に舌で歯茎をくると舌め回すとよいでしょう。舌の動きを滑らかにすることは、嚥下の事故防止にもなります。年を重ねると唾液も少なくなつてゆきま

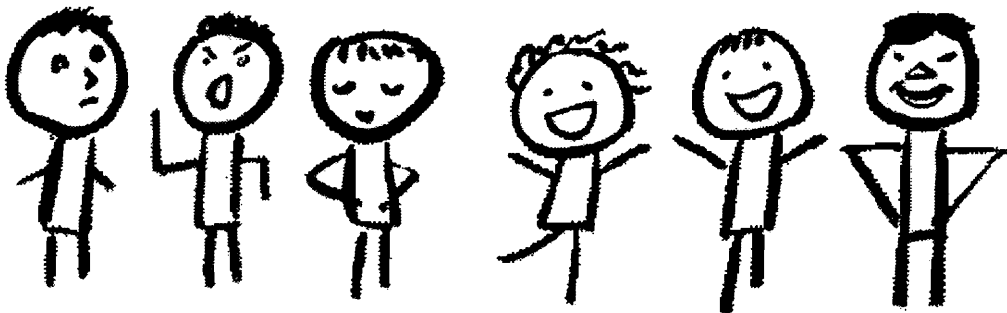
すし、舌の動きも変化してゆきま

す。で、積極的に動かすことはよいことだと思います。

次に首筋の緊張をやわらげてゆきま

す。す。次に首筋の緊張をやわらげてゆきま

す。す。次に首筋の緊張をやわらげてゆきま



お知らせ

<サロン・あべの>9月の出会い

内 容…懐かしい童謡・唱歌を歌いましょう！

お客さま…安田隆廣さん（ハーモニカ演奏）

日 時…9月19日（土）午後1時～4時

場 所…育徳コミュニティーセンター2階

研修室（スロープ・車いすトイレ有）

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

TEL 06-6621-1901

最寄り駅＝

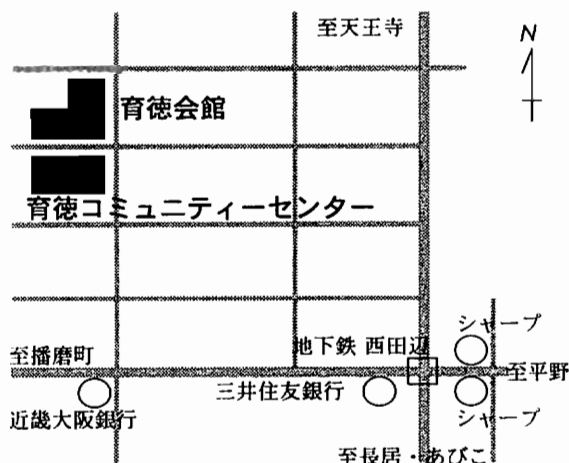
地下鉄御堂筋線「西田辺」（エレベーター有）下車すぐ

会 費…なし

問い合わせ先…

TEL 06-6691-1028（富田慶子）

<サロン・あべの>9月の出会いは市民フォーラムおおさか09の協働事業に参加しています。



う。健康な笑顔作りのために体の筋力を高めましょう。少しづつでも続けていくことが大切です。

私は1時間でも2時間でも体操を続けることができます。それで、自分自身の健康を取り戻したのですから、体操をするごとに飽きを感じることなく楽しんでいきます。

体操をすることで、意識もいろいろと変わります。ふと体を動かしてみたいなあとと思った時、気軽に参加できる場所作りをしたいと思っています。体を動かすことや仲間に出会うことでリラックスできればいいなあとと思っています。

笑顔と歯切れの良い言葉でご指導くださった、顔のみならず、体全体の緊張した筋肉をほぐし、伸ばすことが大切といわれました。筋肉をほぐすことで人の心にゆとりを生みます。心がゆるむと笑顔は自然にあふれてくるのです。こだわらず、とらわれず自分自身の身体を緩（しつけ）ていけるようになるのが大切なことを教えていただいた

出会いました。

休憩後の交流会でも質問に応じて複式呼吸法やスクワットの形など教えていただき、皆さん熱心に学んでおられました。また、ハグによるお互いのリラクゼーションを教えていただき、参加者同士の輪も和やかになった7月の出会いでした。

（参加者20名 富田慶子）

悲しみもまた私のもの



悲しみに沈んだ人がある。その人を見るに
みかねて助けたいという人が現れる。「どん
な悲しみがあるか知らないけれども、時が解
決してくれるものだよ」とか、「物事は考え

ようだよ。この美しい青空を見てごらんよ」
と言葉をかけて励ますのだが、悲しみに沈ん
だ人は、いつこうに耳を傾ける様子はない。
そして「私の悲しみも私の一部なのです。私
が私の悲しみと向かいあつてすごしている静
かな時間を乱さないでください」と言う。

悲しみにある人が、しばらくそうしている
と、今度は「心を癒すことが仕事だ」という
人々が現れる。そして、こうすれば悲しみを
乗り越えられるという方法を教えようとす
る。彼らが示すのは「悲しみからの回復」で
ある。どうやらそこには段階があるらしい。
彼らが言う通りにすれば、階段を一步一步の
ぼるように、悲しみから回復できるのだとい
う。

しかし、悲しみにある人は、それは登れる
ような階段ではないことを知っている。深い
穴の中なのか、高い山の頂上のようなところ
なのかはわからないが、身動きできないこと
は確かなのである。

好評のエッセイ

岡 知史著

知らされない
愛について

700円

ほんの少しの
神に近い部分

700円

愛する我が子を自死で亡くした親たちの気
持ちは、きつとそのようなものだろうと私は
想像している。その悲しみは時が解決してく
れるものでもなく、「時がたつにつれて、ま
すます深まっていく悲しみがある」と、息子
を亡くしたお母さんは私に語っていた。

癒されうる悲しみがある一方で、どうして
も癒されない悲しみがある。一人娘を自死で
喪ったお父さんは「私は遺族ケアとか支援と
かという言葉は嫌いなのです。（私の悲しみ
は）ケアされようがない、支援されようがな

いのです」と語っていた。

現在、自死遺族のケアの必要性が多くの専門家によって指摘され、法律も行政がそれに取り組みように指示している。しかし、そこには「ケアされようがないほどの深い悲しみがある」という可能性は考えられていない。「どんな悲しみでもケアによって軽減される」と誰かが経験的に証明したとでもいうのだろうか。

唐突だが、私はここで「障害もまた私の個性である」と身体障害者たちが主張し始めたところの、医療・福祉関係者の戸惑いを思い出すのである。障害者にかかわる「専門家」の使命は「障害を無くすこと。無くせなくても軽減させること」であった。だから「障害も私も一部だ」と障害者たちが言い始めたとき、「専門家」は自らの専門性を否定されたようにも感じたに違いない。

たしかにリハビリテーションや手術によって軽減され、あるいは無くなる障害もある。しかし、そうではないものもある。無くならない障害を正面から受け入れ、それをかけがえのない自らの一部として組み入れたとき、

社会を大きく動かす障害者運動が始まったのである。

自死遺族の市民運動も「悲しみは私たちのもの」と高らかに宣言するとき、力強い一歩が始まるのかもしれない。訓練で身につけた技法や頭で覚えた理論など、人間が後で身につけたもので、人生の最も深淵な死の悼みを救えるはずがない。それを認めたいか認めたくないかにかかわらず、ダチヨウが空を飛べないように、蝶が水中を泳げないように、遺族ケアはある人々の前には無力であることは否定できないのではないか。生死の根源の苦しみを自ら体験した者だけがもつ威厳に、「専門家」は沈黙するしかない。それを「救える」と考えること自体がおこがましいのだ。

「障害も個性の一つ」という考えは、社会的に広がっている。それでもリハビリや医療の重要性は誰も疑ってはいない。両者は共存できるのである。遺族ケアも「悲しみは私たちのもの」という遺族の主張を認め、それを前提としたときにこそ新しい段階に進むのだろう。

(知)

絵がうたうー

絵とうたうー

童謡♪絵はがき

- ・春　　　　　・海
- ・夏　　　　　・花Ⅰ
- ・秋　　　　　・花Ⅱ
- ・冬Ⅰ　　　　・子ども
- ・冬Ⅱ　　　　・雨
- ・汽車　　　　・川
- ・5月　　　　　・母
- ・お正月　　　・虫

もらった人も、思わず、歌いたくなる、うれしい、楽しい「絵はがき」

童謡♪絵はがき

■5枚1組 ¥180

Mai スウェーデン 留学記 33

たくさんの仲間へ

帰国が近づく6月。1人、また1人と自分の国へ帰っていきます。スウェーデン人の学生は自分の家に帰るので、賑やかだった寮が日に日に寂しくなるのです。最後まで残るのはアジアからの留学生。彼らは自分の国に帰ってしまおうと、なかなかヨーロッパに行く機会が持てなくなってしまうので、できるだけ滞在を延ばして、ヨーロッパを旅行して帰ることが多いのです。そのうち寮に残っているのは日本と中国、韓国の留学生だけというこ

とになります。私もできるだけ滞在を延ばすため、ピザが切れる2日前にようやく帰国しました。ただ、みんなを見送ることは辛いもの。何かの縁があつて、出会って、共に過

ごした仲間。日本にいたら永遠に会うことはなかったのに、スウェーデンという場所で奇跡的に出会うことができた仲間。でも、出会いも奇跡的なものであれば、再会も奇跡的なものなのです。「いつかは会おう。」そう言っているけれど……。

そんなちよつと切ない気持が続く6月。「ピザ・コンペティション・パーティーをしよう！」というメールがまわってきました。それぞれ、ピザを生地から作り、好きなものをトッピングし、食べようというだけのもの



サマーコースでのスイス人の友人たちと(ウブサラにて)

ですが。

もちろんピザを生地から作るのも初めて。インターネットでレシピを調べてピザの台を作り、友達と語り合いながら作ったピザ。何時間もかかって作ったピザの出来は、もう少し改良が必要なものでしたが、満足のいく出来栄でした。みんなが作ったピザが次々に焼き上がり、テーブルの上に並べられ、少しずつ食べていくパーティー。1年間一緒に過ごした思い出が詰まったピザ。結局誰が1位なのかは決められませんでした。



出会った日本人留学生と最後のキャンプ(ヴェクショーにて)



スイス人とアメリカ人の親友と(ウブサラにて)



ヴェクショーでの手作り料理パーティー (ヴェクショーにて)



ポルトガルとギリシャの男子たちと寿司バーで (ウブサラにて)

ち、友人を訪ねて、スウェーデンのストックホルムからウブサラ、アルヴィーカ、カールスタッド、アルヴェスタ、ヴェクショー、ルンド、マルメを訪れてきました。奇跡的な再会を果たして、また会う約束をしてきました。2年9カ月経っても変わらない景色を私に見せてくれたスウェーデン。新しい建物が増えてたり、電車

帰国すれば、日本人留学生同士でもそんなに会うことはできません。私にとつての1年間の留学生活。初めての英語での授業、日本とは違う教育システム、寮生活、そしてかけがえない友人。スウェーデンの社会で生活するということの良さと、やはり偏見も少なからずあること、相手への最低限の礼儀としてのその国の言葉を学んで話すということの大切さ、そして、言うべきときにはちゃんと自分の意見を言うことの大切さを学んだ1年

間だったといえるでしょう。スウェーデンでも完璧な国ではありません。福祉のレベルは世界最高水準にまでありますが、今も問題を抱えているのは日本と同じです。スウェーデンでもまだ障害者は差別されることも多いし、個々人の対応の難しさに頭を悩ませているのです。財政の問題もあります。

英語での授業で、英語でレポートを書いてという大学生活。授業の内容を100%理解したかというと、答えはNOです。授業を受けていた留学生は英語を母国語にもたない人達ばかり。全員が100%理解していたとはとても思えませんが、その場で受けた授業、クラスのみならずと討論したこと、一緒にその時間を共有したということが今も私の中で1つの力として残っています。理論ではなく、「体験」するということの大切さを学んだ1年間でした。

帰国してから2年9カ月後、私は再び、ストックホルムの地を踏み、留学時代にお世話になった人



お世話になった人を訪ねて・・・

近所の雪だるまとハグ

(アルヴィーカにて。2009年3月2日)

さんいる場所でした。
留学で出会った人たち、そしてまた
会えた人たちへ・・・いつまでも変わ
らない愛と優しさをありがとう。ヤー
エルスカル エル！（あなた達が太
好きです！）

最後になりましたが、今回でこの留

「邦子・・・ん歳の手習い」はお休みです。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

（清原 舞）



変わらない風景

(ヴェクショー再訪。2009年3月5日)

が速くなったり、エコ商品が増えてたり、
少しの変化を見つけては喜びを感じていまし
た。でもただ1つ、ヴェクショーを訪れたと
きに、感じたのは、変わらない景色ではある、
懐かしい景色ではある、何1つ変わっていない

いように見える・・・けれど、何かが違う、
私が生活していた頃とは何かが違うとはつき
りと感じました。あのとき一緒に過ごしたメ
ンバーが全くないわけではないですが、数
少なく、そして大学には新しい留学生があふ
れかえっているのを見て、寂しさも
感じたのでした。すでに過去のもの
となってきた留学生活。それで
も日本で生活するうちに忘れてしま
っていた人に対する思いやり、助け
合いを再びスウェーデンでみんなが
当たり前にしているのを見て忘れて
いたものを思い出したし、原点に戻
るつもりで行ったスウェーデンは、
私を暖かく迎えてくれました。「お帰
り！」と言ってくれる人たちがたく
さんいる場所でした。

学記を終
わらせて
いただき
ます。皆
様のおか
げで私も
ここまで
続けるこ
とができ
ました。
ここでの
出会いに
感謝でい
っぱいです。次にお会いすることがあれば、
きつとまた別の形でヨーロッパという国をお
届けすることができかなと思います。ヨー
ロッパは私の大好きな国、そして私の第2の
故郷です。またお会いできることを願っ
て・・・愛と感謝を込めて、ヴィ セス ス
ナルト(See you soon)！



ピザ・コンペティション(ヴェクショーにて)

晴れのち晴れ-131-

稲垣恵雄

■熟語の読み方

熟語はだいたい上の字が音なら下の字も音で読み、上の字が訓なら下の字も訓で読むが、次のような読み方もある。

重箱読み＝漢字の熟語が重箱のように上の字を音、下の字を訓でよむ読み方をいう。

例、恵雄（えゆう）。自分の名前をあげて恐縮だが、他に熟語が見当たらなかったのでお許し願いたい。

湯桶読み＝湯桶のように漢字2字の熟語の上の字を訓、下の字を音でよむ読み方をいう。例、手本、消印など。なお「渦中」という字は正確には「かちゅう」だが、どこかの首相が国会で「うずちゅう」と言われたことは記憶にまだ新しい人も多いと思う。「うずちゅう」とよめば湯桶読みである。

ちなみに重箱・湯桶の両方の読み方とは

全く関係ないが、本を読んでいて面白い漢字の熟語が目についたので、ここに2つほど記しておきたい。

① 鹿尾菜（ひじき）＝海草のひじきのことだが、鹿の尾が菜に似ているところからこう書くという。

② 烏賊（イカ）＝本来はカラスが海に泳いでいるイカに近づいて行って取ろうとするのだが、そばまで行くと逆にイカがカラスをつかまえて食べてしまうのである。だからカラスにとってイカが敵（賊）なのでイカを烏賊と書くそうだ。

このように分からない熟語がたくさんあるので、遅まきながらこれからはしっかりと学んでいきたいと思っている。



ありがとうございます。

カンパ、冷茶・お菓子・バザー用品のご寄贈、また、サロングッズのお買い上げなどありがとうございます。ありがとうございました。

カスタネット、セルフ社、安達尚子、生駒紀子、井関通弘、伊東裕子、稲垣恵雄、井上礼子、上野谷加代子、風智恵子、加藤義一、木村輝久、黒瀬和子、蔵田均、黒羽玲子、神城昭子、小島敬大、後藤基康、小西京子、阪口悦子、杉山蔦枝、関幸子、高梨千恵子、竹村定子、手島八重子、富田万里子、豊島大造、中村修子、西尾祐吾、長谷川麻美子、平岡太、藤田洋子、宝示愛子、堀田雅子、松本克代、松本久美子、松本洋子、待田敏彦、眞殿香與女、丸山寿美子、松森美智子、矢倉甚兵衛、山根匡子、山野莊一、山本篤江、その他の方々。（敬称略）

サロンの絵はがき

一組五枚セット 一八〇円

美智子のこんな話

岸田美智子

重度障害者入院時コミュニケーション事業について

以前このコーナーで紹介させていただいたと思いますが、重度障害者が地域で自立生活を送っていても体調を崩して入院してしまうことはたびたびあることで、重度障害者が入院してしまうと介護保障する制度はなくなり医療機関に移ってしまう問題があります。でも、完全看護の病院であつても、言語障害があつたりナースコールのボタンが押せなかったりする場合、その障害者の介助は突然接することになった看護師さん達には難しいと思います。介助はもともと人間関係や慣れがとでも大事でそれ抜きでは成り立たないものだ

と思います。それにもまして入院時の介助内容には、薬の種類や病状によって正確な介助が必要になってくると思いますし命にも関わってくると思います。そして、体調が悪い重度障害者は、はつきりしゃべる事がますます難しくなると思いますし、声を出すことすらできなくなる場合があります。このような入院時の介助保障については大きな課題になっていました。この課題に対して、大阪市は昨年の10月から大阪市重度障害者等入院時コミュニケーションサポート事業をスタートさせました。このコミュニケーションサポート事業は大阪市の場合、3障害（知的・精神・身体）使うことができるのが大きな特徴だと思いますが、ただ、使える期間が14日間と大変短い期間となっていますし、対象者の障害程度が、こちらの声かけにも反応できないし、本人からの言葉や、何らかの意思表示がまったくできない方になっているため、重度障害者でもほとんどの方が対象外になってしまい、私の住んでいる住吉区ではいまだに対象者がいません。大阪市全体でも2009年6月までで認定者は32人で実際の利用者は3人のみだそうです。

また最近、西宮市でもこの制度がスタートし、身体障害者に限られています。言語障害がない人でも、利用できるようになり、利用期間も30日までですが、その必要性が認められれば、90日まで利用が可能（90日を超える場合も必要性が認められれば可能）と、大変使いやすいものになっています。また、同様の制度が愛媛県にもできています。このような入院時の制度が1日でも早く全国にできてほしいものです。この大阪市のコミュニケーションサポート事業も皆さんの声でもっと改善していきたいものです。

サロンの

一筆箋

一冊一〇〇枚綴 一五〇円

＜サロン・あべの＞の活動資金調製にご協力ください。

06-6539-8075



9月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

会 費：なし

問い合わせ先：宮脇淳

☎090-3949-6973

■「サロン淀川」9月の出会い

日 時：9月5日（日）午後12時～5時

内 容：「淀川区民まつりで、こどもから大人まで
楽しみましょう」

～今年もボランティアビューローコーナ
ーを設けます。手作りおもちゃでこども
と大人の交流、楽しいイベントを楽しん
でください～「手作りおもちゃ」は市民
フォーラムおおさか09協働事業に参加
しています。

場 所：「淀川区民センターグランド、淀川区社会
福祉協議会コーナー」

大阪市淀川区野中南2-1-3

会 費：なし

問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビュー
ロー）〒532-0005 淀川区三国本町
2-14-3 ☎06-6394-2900

E-mail: sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にし」9月の出会い

日 時：9月12日（土） 10時～12時

内 容：「自分の癒しについて学ぼう！！」

場 所：西区在宅サービスセンター「にしがほり」

大阪市西区新町4-5-14

■「サロン・にしよど」9月の出会い

日 時：9月26日（土）午後1時～3時

雨天のときは「ふくふく」でお話を聞きま
す。☆当日は動きやすい服装と靴でお越し
下さい。

内 容：「西淀川の歴史散歩」～大和田を歩く～

ゲ ス ト：稲垣泰平氏（歴史散歩の達人）

場 所：なにわ自転車道路、子安身代わり延命地蔵
尊、他神社仏閣など

会 費：なし

問い合わせ先：中本 ☎090-9864-9678

■「ウイズ東淀川」9月の出会い

日 時：9月13日（日）午後1時30分～4時30分

内 容：未定

パネラー：未定

場 所：NPO 法人自由空間クラブ
大阪市東淀川区淡路5丁目

会 費：なし

問い合わせ先：鈴木昭二

☎06-6340-3082

FAX06-6340-3012

■「サロンいたみ」9月の会いはお休みです

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で〈サロン・あべの〉紙第277号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第277号までそろっています。
- (b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳DJ)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸で

んわ音訳DJ)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
 - (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ばけっと音訳)
 - (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
 - (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳DJ)
 - (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳DJ)
 - (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
 - (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
 - (r) 「勁くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訳)
 - (s) 「たまごが ポン!」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳DJ)
 - (t) 阿倍野名所旧跡いろはがた(猿田博＝糸でんわ音訳)
 - (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)
 - (v) 富田慶子出演の「ちょっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ
- ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。音訳の後のDJ印はディジー録音。

寄りみち



■童謡♪絵はがき・われは海の子。明治後期の詩人の作品だけあって古めかしい表現が多く、現代の子どもにとっては、若干の違和感があるかもしれませんが。最初は詩の教材として使われ、曲がついていませんでした。曲がついて歌われるようになったのは、大正2年「尋常小学唱歌」に載せられてからでした。戦後、この歌詞が軍国主義をあおっていると問題になり、7番が削除されます。その後も復活したり、削除されたりを繰り返し、今日歌われるのは一般的に3番までということになっています。そしてこの曲は作詞者不詳となっていることが多いのですが、最近になって、北欧文学者の宮原晃一朗ではないかという説が出てきました。(石)

〈サロン・あべの〉VOL. 278 発行：平成21(2009)年8月15日 定価¥100
 編集人：〈サロン・あべの〉運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美穂子
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方〈サロン・あべの〉
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
 ホームページ：http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/「サロン あべの」でも検索できます